



KDDIの放送通信連携への取組み とマルチメディア放送サービスへの期待

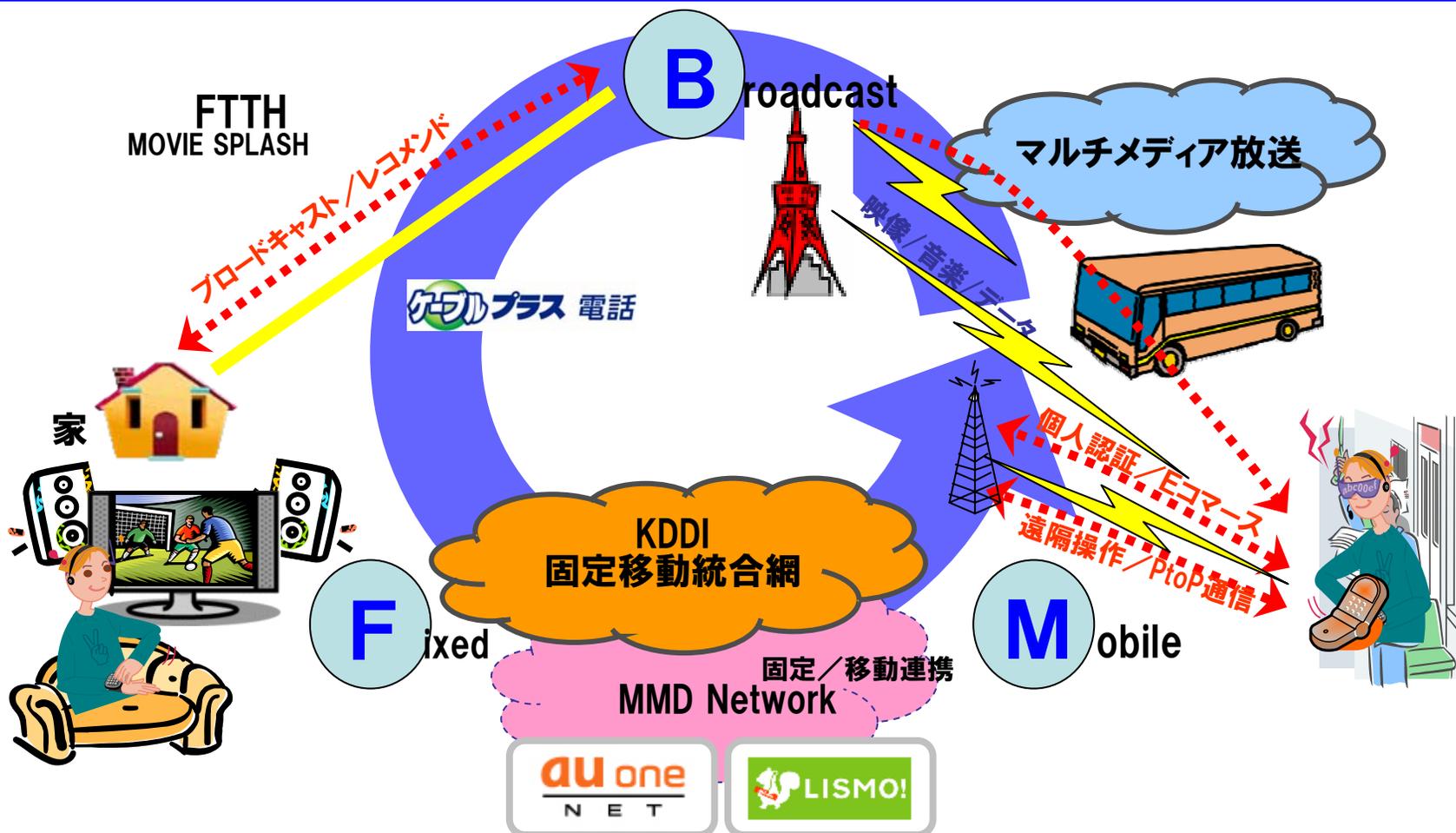
**2007年12月20日
KDDI株式会社**

はじめに

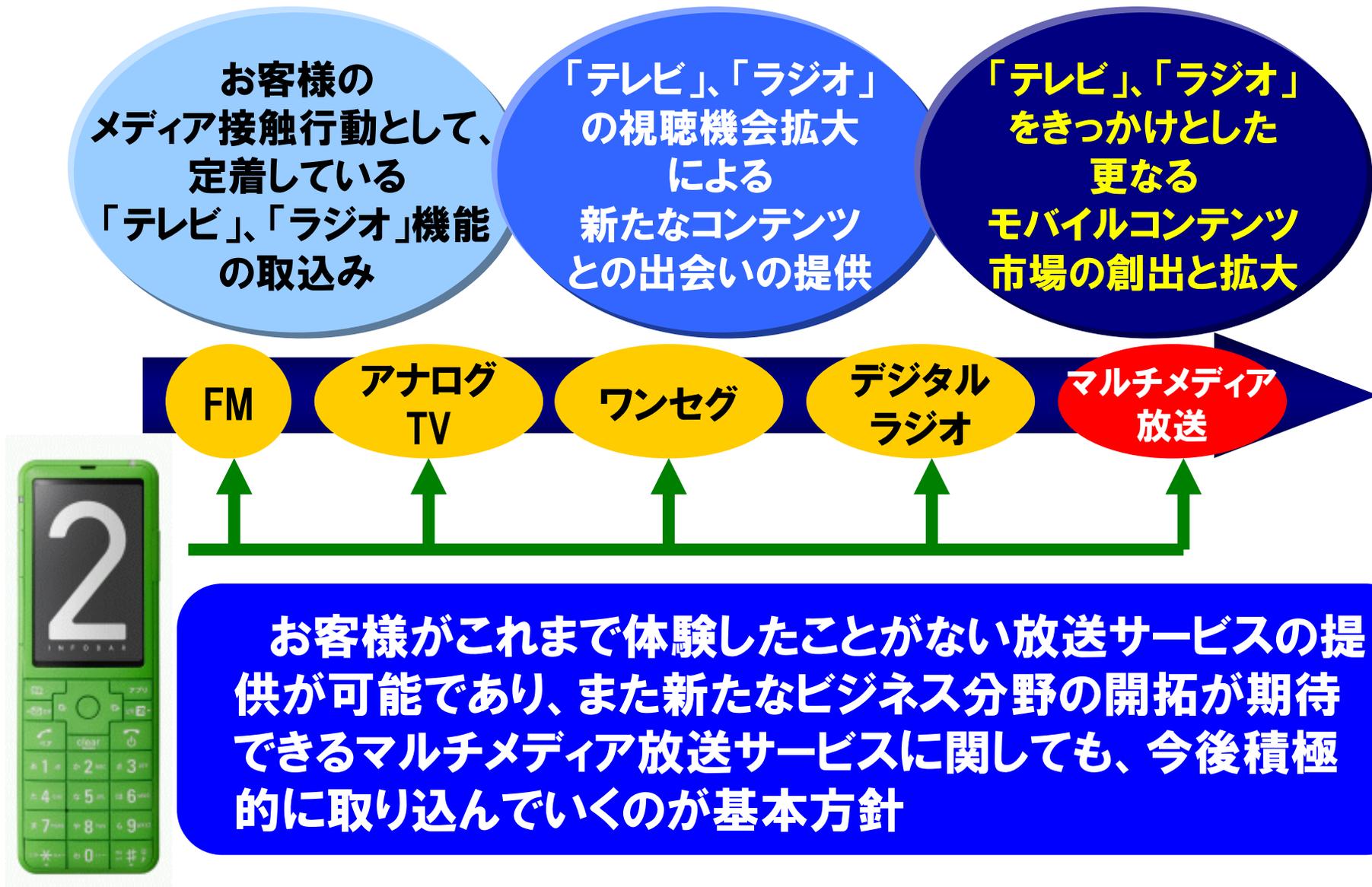
KDDIの目指すFMBCサービス



お客様が利用デバイスの区別を意識することなく、多様なコンテンツやサービスを、いつでもどこでも最適な通信環境でご利用いただけるマルチメディアサービスの世界を実現



携帯電話向け放送への基本的な考え方

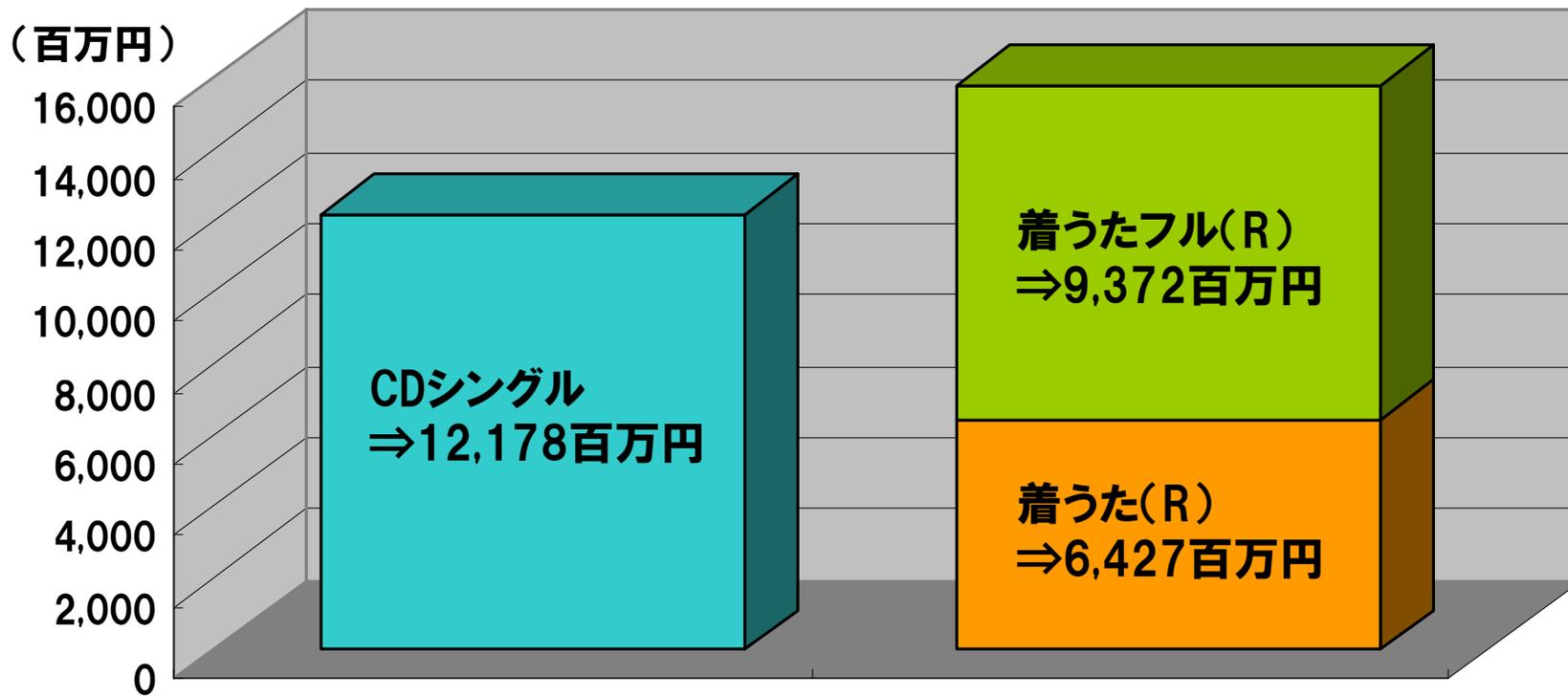


これまでの取組み

着うた(R)/着うたフル(R)市場の拡大



2002年12月の着うた(R)サービス開始後4年で年間約500億円の市場を新たに創出。2007年7月-9月期の実績では、CDシングル市場を上回る



2007年7月-9月のCDシングル及び着うた(R)/着うたフル(R)市場

出典: 社団法人 日本レコード協会HPより

FMケータイへの取組み

2003年12月サービス開始 ⇒ EZ・FM対応端末 約1,800万台

曲名表示機能

気になったオンエア楽曲の曲名検索から、着うた®・着うたフル®のダウンロード、CD購入までが簡単に可能となる機能。放送で気になった楽曲をその場で購入！

ワンセグ、デジタルラジオに先駆けて『放送通信連携型サービス』を実践



センターキー
押下



着うた®・着うたフル®・CDの有無
情報をアイコンで表示

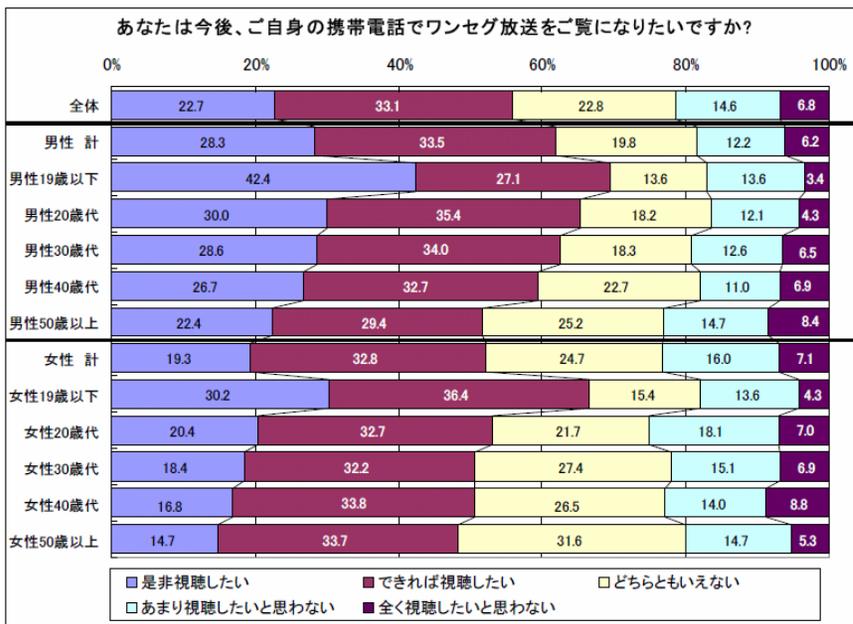
選曲中のFM局名、オンエア中の
曲名、アーティスト名を表示

2007年12月3日:FM53局+KDDI 他が協力し、楽曲検索実施者へ著名作家の作品
を著名アーティストが朗読する『トーキングブック〜ラジオ小説〜』
を毎日配信中！

⇒ FM53局と連携したFMケータイ利用活性化施策を実施中

ワンセグへの取組み

2005年12月 端末発売⇒ワンセグ対応端末 600万台突破



出典:2007年3月 インフォプラント調査

ワンセグを視聴したい=55.8%
 ワンセグ機能へのお客様の期待値の高さ
 2006年12月末 全6機種約100万台

2007年1-3月期
 更に8機種の対応端末を発売
 他社に先駆けて広範な
 機種での機能搭載を開始

デバイスの
 低価格化

ケータイ始め多種多様な機器
 へのワンセグ機能搭載が進む
 ワンセグ対応携帯電話出荷台数;13,988千台(2007年9月末)
 ワンセグ内蔵PC;141千台(2007年10月末)

デジタルラジオへの取組み

2006年12月端末発売⇒デジタルラジオ対応端末 約160万台

機能概要

- ① 映像・音声・データ放送からなるマルチメディア放送サービス
- ② 高音質かつ無料の音楽放送サービス
- ③ 放送波を利用したファイル・ダウンロード・サービス

端末販売のみならず、放送局と連携し様々なマルチメディア放送サービス・トライアルを実践

放送通信連携型番組の検証



放送波ファイルダウンロード検証

This section displays various services available through broadcast wave file downloads. It includes the LISMO! logo with a squirrel character, 'Flash® ゲーム' (Flash Games), and '電子書籍' (E-books). A green oval highlights '着うたフル® ビデオクリップ' (Uta-Full® Video Clips). Below, a screenshot of a mobile application interface is shown with the text '災害時ナビ' (Disaster Time Navigation).

新たな放送技術～MediaFLO～への取組み

2007年11月27日 **メディアフロージャパン企画株式会社**
(2005年12月設立 社長:増田和彦 出資比率:KDDI 80%・Qualcomm 20%)
と共同で、Media FLOに関する実証実験を開始

【目的】

実験局と受信端末を設置し、実験用番組の放送を通じて、屋内環境における電波伝搬特性等、各種情報の収集

- (1) 屋内伝搬状態の確認
- (2) 画質、音声品質試験
- (3) 切替機能確認試験
- (4) アプリケーション実証試験
(IPデータキャスト用アプリケーション)



実験用受信端末協力

LG電子株式会社
京セラ株式会社
サムスン電子株式会社
シャープ株式会社

実験用アプリケーション
(IPデータキャスト) 協力
Roundbox, Inc.

実験用番組協力 (予定)

株式会社IMAGICA TV
株式会社NHKエンタープライズ
株式会社キッズステーション
株式会社スーパーネットワーク
株式会社スター・チャンネル
株式会社スペースシャワーネットワーク
株式会社日経シー・エヌ・ピー・シー
ニュース・ブロードキャスト・ジャパン株式会社
株式会社バンダイチャンネル
ブルームバーグ・エル・ピー
株式会社よしもとクリエイティブ・エージェンシー



マルチメディア放送 サービスへの期待

放送による新たな消費行動の発生



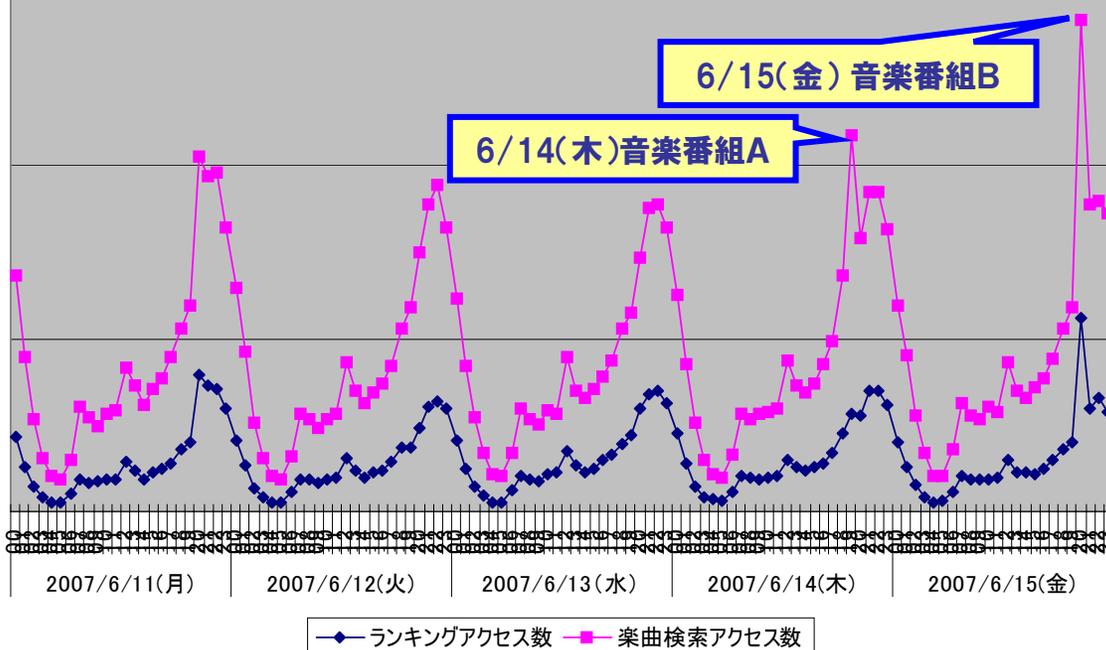
音楽TV番組視聴



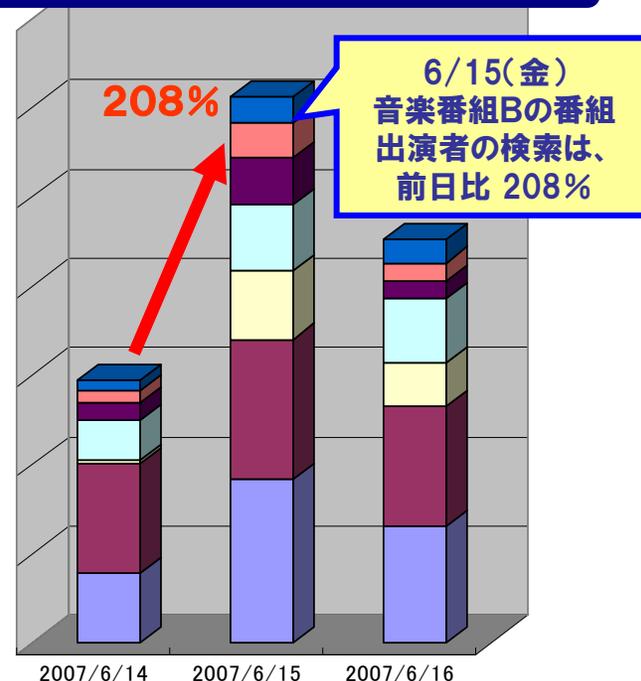
音楽サイトにおけるアクセス数・出演
アーティスト検索数の増大

→テレビにより、新たな消費行動が喚起され、
コンテンツ市場が拡大

音楽ポータルアクセス数（07年6月）

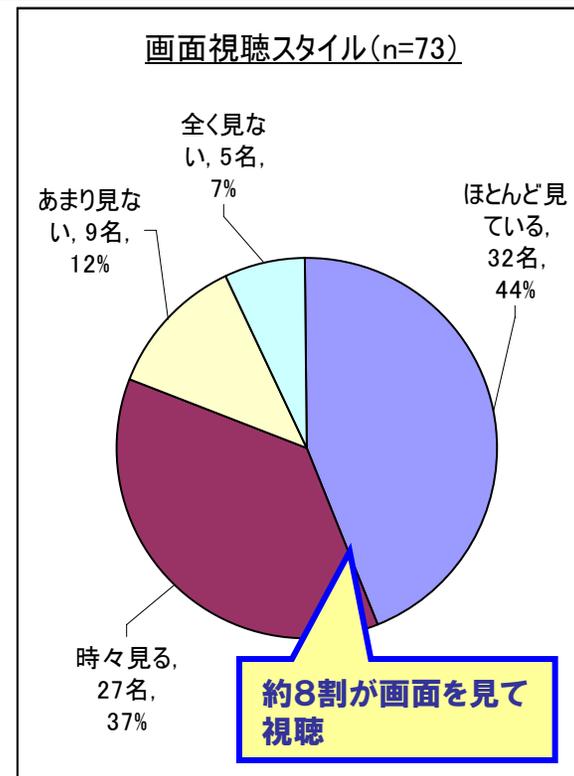
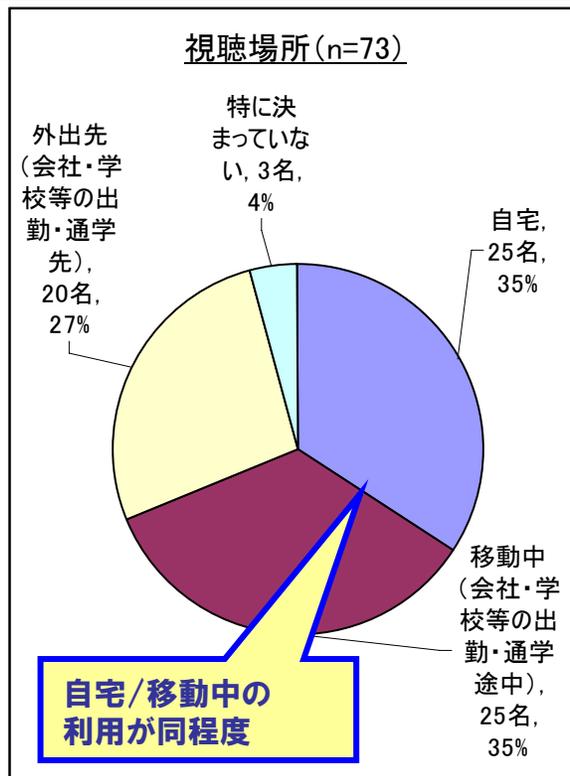
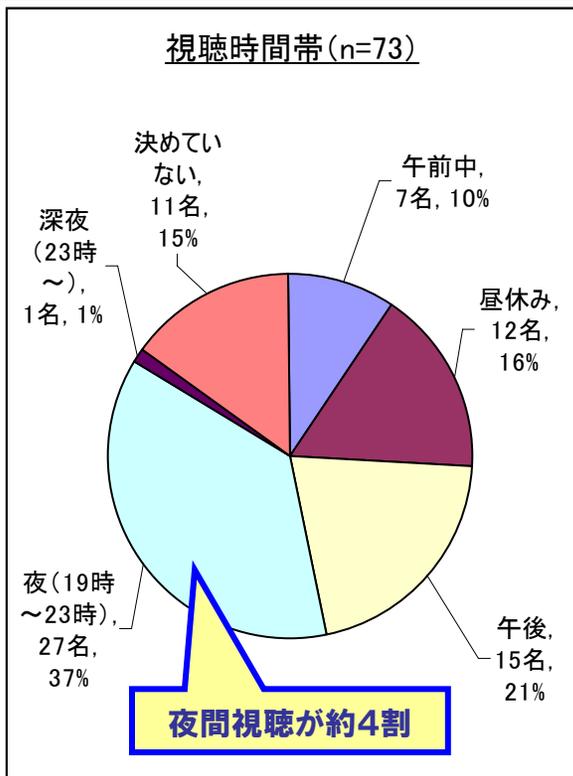


アーティスト別検索リクエスト数



音楽番組放送時間帯に、サイトアクセス・出演者検索が急増

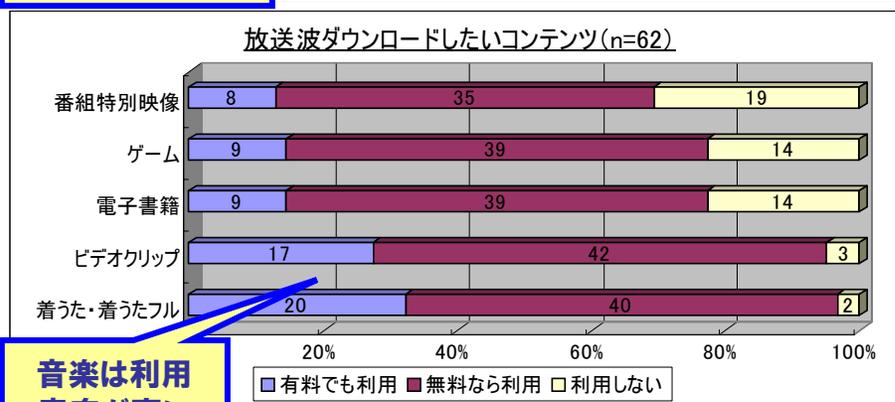
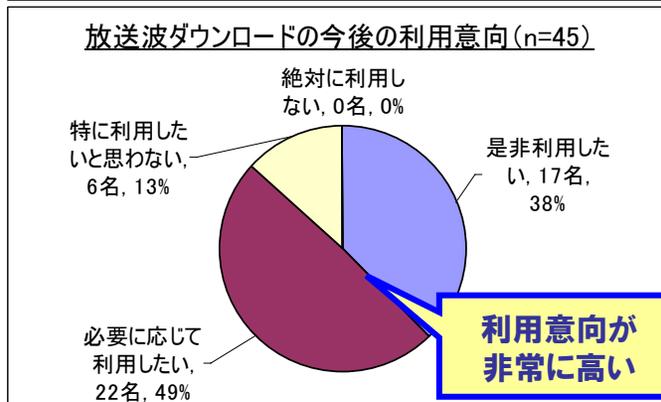
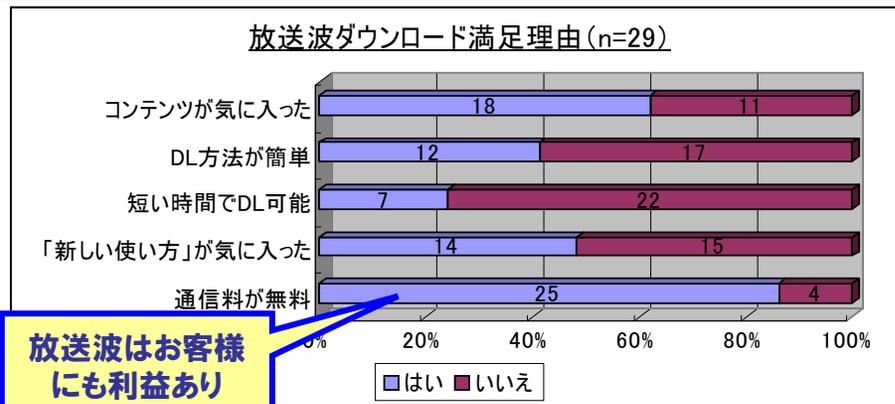
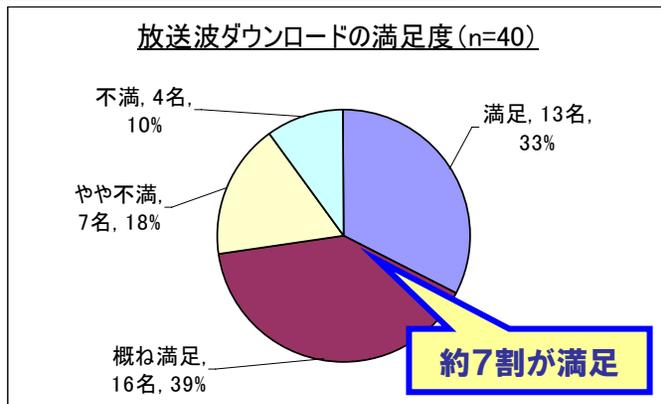
お客様の利用動向～デジタルラジオ～①



調査対象: 2007年7月及び8月実施の架電調査
 調査実施日: 2007年11月10日、11日
 有効回答数: 73件

ケータイが『外出時の暇つぶしツール』ではなく、自宅内外問わない、最も身近な『放送受信機』として浸透すると共に、お客様へ新たなメディア接触機会を提供。

お客様の利用動向～デジタルラジオ～②



調査対象: KDDIお客様窓口部門からの架電調査
 調査実施日: 2007年11月10日、11日
 有効回答数: 73件

放送波ダウンロードサービスのお客様受容度は高く、音楽系コンテンツの利用意向も非常に高い。
(有料でも購入するというお客様も30%程度存在⇒更なるコンテンツ市場拡大の可能性)

マルチメディア放送への期待①

お客様の利用動向調査より

ケータイ向け放送サービス⇒
パーソナル・メディアとしてお客様に浸透

画面(映像/データ)を楽しむ
お客様も8割程度存在

映像を中心とした多ch放送サービスへの期待度大

スポーツ

映画

音楽

アニメ

ドラマ

エンター
テイメント

ニュース

ドキュメ
ンタリー

趣味

教育

多種多様な趣味嗜好を持つ、幅広いお客様のニーズへの対応
視覚障害者/聴覚障害者向け放送、外国語放送 等の充実

マルチメディア放送が加わることで、全ての人からあらゆる情報の取得が可能に⇒『安全』、『安心』なユビキタス社会の実現

- 効率的に帯域を利用可能な技術方式であることが重要
- 各チャンネルの採算性確保のためには、全国放送が可能な制度整理が必要

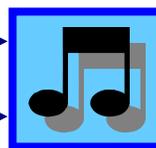
マルチメディア放送への期待②

現在の放送通信
連携の課題

音楽番組等では、番組演出によってお客様の
アクセスが集中、ネットワーク輻輳が発生



放送ネットワーク



放送ネットワークを利用した大容量ファイル配信

通信では、実現困難であった番組出演者による、番組
オンエアと連動した楽曲レコメンドも可能に

お客様への連続した『体験・楽しみ』の提供 - 音楽に関するお客様の体験行動 -



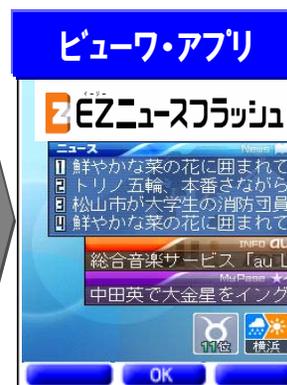
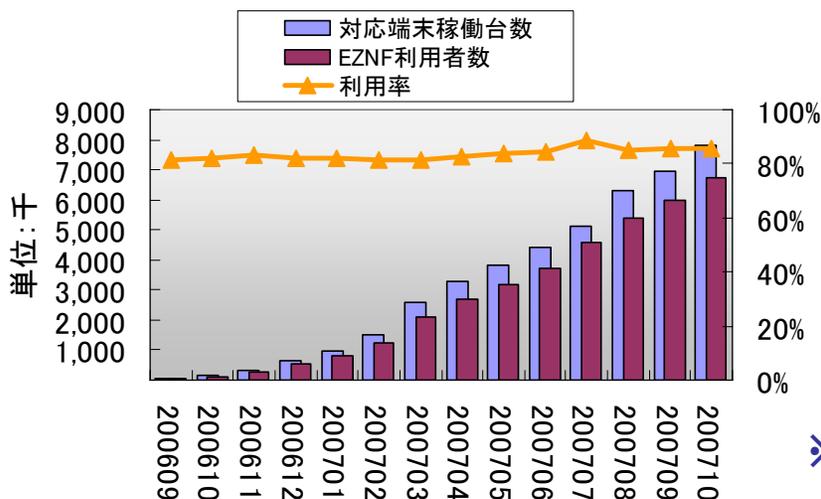
Searchを境に
行動の連鎖が途切れる

お客様のコンテンツにまつわる行動を連鎖させることで、
新たな体験価値を提供することを期待

マルチメディア放送への期待③

2006年9月 端末発売⇒EZニュースフラッシュ対応端末 約850万台

- マルチキャスト技術を利用したニュース配信サービス
- ニュース・天気情報・占い・今日のトピックスを待受け画面にPush配信
⇒ 80%以上 約700万人のお客様が利用



**EZweb
ポータル
へ遷移する
ことで
詳細情報を
取得**

※ Push型で簡易なニュースを提供

放送インフラを利用することで

テキスト情報のみでなく、様々な大容量映像コンテンツを配信
お客様の更なる満足度向上と共に、新たなコンテンツ配信手段の構築による
新規コンテンツビジネス領域の開拓を期待

その他コメント

採用すべき技術方式は、 1 or 複数

技術方式に関しては、提供されるサービスに最も適した方式を複数技術方式の中から自由に選択できることが重要であると考えます。また複数方式の採用を可能とすることで、技術の陳腐化に捉われることなく自由競争環境下でユーザ・ニーズに
応えやすくなると考えます。

サービスエリア

サービス主体の判断によりますが、放送と通信がシームレスに連携することで、新たな価値が提供されることへの期待感を考えますと、通信ネットワークと同程度のエリアカバーとなることを期待します。

スケジュール

約半年間のフィールドテスト、及び端末開発期間を考えますと、遅くともサービス開始の2年前には、サービス提供事業者、サービス内容、技術方式 等が全て決定されていることを希望します。

Designing The Future

KDDI

The KDDI logo consists of the letters 'KDDI' in a bold, dark blue, sans-serif font. A light blue, curved swoosh with a gradient effect passes behind the letters, starting from the bottom left and curving upwards and to the right, partially obscuring the letters.